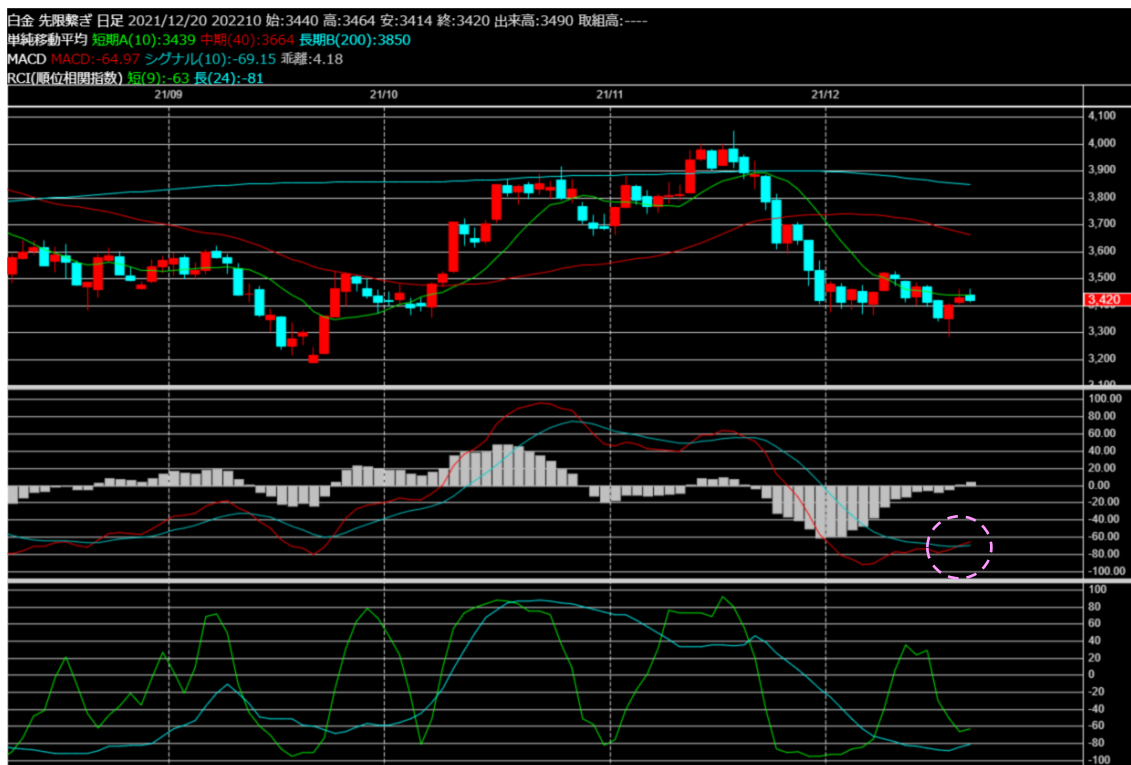


< 白金標準先物、S&P の格下げでも 3400 円を維持・・・ >



(出所：オアシス)

FOMC を受けて貴金属全体が買い戻しの動きを見せている。ただ週末にフィッチに続き S&P が恒大集団の長期債の格付けは一部デフォルトを示す「選択的デフォルト (SD)」に引き下げを発表している。そのため 900 ドル割れから戻りを強めていた上値追いを抑え込む要因となっている。特に中国 GDP の 25% を占める不動産業界のデフォルト・リスクは白金需要における中国の触媒需要や宝飾需要の低迷に結び付くだけに心理的な弱気要因となる。ただ中国人民銀行は預金準備率の引き下げを実施し、新たな経済支援策を行う状況にある。また広東省政府は、恒大集団のデフォルト回避のため中国政府の意向を受けて動き出しており、2019 年の大手航空会社・海航集団のデフォルト懸念と同様に海南省政府が介入し、1 年半を掛けてソフトランディングを行なっている前例を見ても、市場に与える懸念は最小限に抑え込まれると予想されるため、デフォルト・リスクが高まりを見せた 3400 円台はロングポジションを作るチャンスではないかと思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** の切り上げで **シグナル** を上回るクロスを示し、RCI では **短期** が **長期** の手前で下げ渋り、**長期** も切り上げるなど、テクニカルは強気を示す動きを行なっている。

<データー>

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 501628 (前週比±0)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 68.58 (前週比-2.64)

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 308,500 円(2021 年 12 月 20 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2021 年 12 月 20 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>